

事業計画書

第 11 期（2024 年 6 月～2025 年 5 月）

一般社団法人アルバ・エデュ

1. 事業活動の背景

大学入試改革や社会におけるコミュニケーション能力の重要性の高まりから「話す力」の育成が叫ばれるも、義務教育段階に体系的な教育課程が存在しないという課題がある。これに対し、アルバ・エデュでは子どもたちの「話す力」を向上するためのプログラムを学校・自治体単位で授業や教員研修を通じて提供してきた。第 9 期からは日本財団からの助成金の下、その重要性の認知を得るためのロビイング・アドボカシー活動を行うとともに、今期はより広範囲に「話す力」の授業が根付く環境作りのために、デジタル技術を活用した新しいアプローチを導入する。

2. 今期の主な活動

（1）公教育部門

学校や自治体からの単発の依頼は利益率を注視しながら規模を縮小しての受託とする一方、文京区、江東区、世田谷区、市原市、さいたま市他、「話す力を高めるプログラム」モデル授業・教員研修の受託の効率化を図り、部門全体では売上微増の計画（売上 9.2 百万円、前年同期比+3%）。学識経験者で構成されるアドバイザリー・ボードは 2 回実施、教育工学会に採択された論文の刊行も予定。

（2）企画部門

「子ども第三の居場所」授業―「キャリア教育を通じた子どもの主体性を育むオンライン授業の実施」事業を引き続き実施。多様な職業に従事する社会人の話や職場紹介の様子をオンラインで届け、感じたことを発表するプレゼン大会を行う（支援金 3.8 百万円、同▲3%）。

（3）アプリ開発

これまで（1）の公教育部門として受け入れていた日本財団からの助成金の一部を充てて開発を始めた生成 AI を活用したアプリが文部科学省 次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進（最先端技術及び教育データ利活用に関する実証事業）の事業として採択された

（10.0 百万円）。併せて日本財団の助成金は引き続き総額 30.9 百万円中 6 百万円を充当して開発と実証研究を継続することで合意。実証対象：戸田市立美谷本小学校、宇都宮短期大学付属高等学校中学校。

当アプリに関しては有識者を交えた実証研究委員会によるロジックモデル構築と対話ログの分析を経て、ミニマムの機能でローンチし、当期内の販売開始を予定している（今期目標 5 件うち 1 件成約、売上計画 5 百万）。

（４）ロビイング・アドボカシー活動

周辺業界・団体との協働を含む活動の拡大を図る（ECC、New Horizon、日本語検定等）一方、第 3 回シンポジウムを含め、本プログラムが多くのステイクホルダーに支持されるよう各種働きかけを継続する。

（５）経営基盤の整備

ETIC.やローンディール経由でのプロボノ人材の受け入れ（計 4 名予定）、生成 AI を活用した活動戦略立案・マネージメント AI ロボットを使用した営業企画体制、管理体制の強化を行う。
私立への営業（上記（３）アプリ含む）や企業の CSR 部門との連携強化を通じた資金調達を通じ、助成金終了後の経営基盤の安定化を図る（CSR 資金目標 10 百万円）。

3. 支出

人員の調整により人件費（役員報酬、給与賃金、法定福利費合計）は 11.9 百万円と前期比▲4%と微減、助成金等受入に対応した業務委託料は 19.4 百万と同 42%増加の予定。
業務委託料のうちの主な支出は、アプリの開発経費 11 百万円（JP Universe 社、フィラメント社）、実証研究サポートおよびシンポジウム事務局費 5 百万（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング社）、商品ロゴやステートメントの作成費用 2.5 百万（DE 社）。

費目	実績より	予算書より	予算書より	予算書より	今年度 予算計	昨年度 実績	単位:千円 内容
	法人自主財源	日本財団3か年	日本財団支援金	文科省助成金			
役員報酬	0	480	96	384	960	960	100%
給料賃金	0	3,792	2,088	3,480	9,360	9,912	94%
法定福利費	1,600	0	0	0	1,600	1,500	107%
福利厚生費	200	0	0	0	200	181	111%
業務委託料	10	13,680	830	4,888	19,408	13,654	142%
地代家賃	(1,161)	(145)	(145)	(0)	0	2,638	0%
接待交際費	10	0	0	0	10	20	49%
備品消耗品	100	796	105	210	1,211	890	136%
通信費	250	112	78	198	638	357	179%
広告宣伝費	30	5,766	110	0	5,906	4,289	138%
旅費交通費	200	376	60	53	689	493	140%
租税公課	5	0	0	0	5	4	132%
支払手数料	30	0	0	0	30	28	107%
支払報酬	450	679	151	148	1,428	855	167%
会議費	30	450	0	0	480	50	962%
水道光熱費	52	7	10	0	70	59	118%
研修費	0	0	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	612	612	0	
合計	2,967	26,139	3,528	9,972	42,606	35,888	119%

今期は前期の決算状況に鑑み、着地の数字を注視しながらコストコントロールしていくこととする。

以上

11期 2024年度
事業費収支予算 内訳書

一般社団法人アルパ・エデュ

1. 収入の部

10期実績

単位：円

項目		今年度 予算額	昨年度 実績	備考
公教育部	A 自治体向けコンサル	1,960,200	1,419,000	市原受託モデル授業
	B 受託授業(継続)	6,109,900	3,286,445	文京区,都立,継続自治体モデル授業
	C 受託授業(単発・WS)	967,000	4,104,183	単発自治体学校,研修,WS
	D 教員研修	195,000	542,458	
	E 原稿,取材,講演	700,000	1,048,274	
アプリ関連	F アプリ開発費	2,000,000	1,306,364	
その他	G 養成講座	100,000	145,559	
	H 物販	30,000	33,831	
	I 他	0		
小計		12,062,100	281,264 27,540,977	
寄付/助成金	O 寄付	200,000		
	P 助成金+支援金	24,774,261	138	全国の教育現場への「話す力を高めるプログラム」導入
	P' 助成金(組織基盤)	570,000		子供の主体性を育む発表大会の開催
	P'' 文部科学省事業 雑収入・利息	9,972,200 0		キャリアアップ助成金他
	小計	35,516,461		
合計		47,578,561	39,708,493	

2. 支出の部

10期実績

単位：円

費目	予算				今年度 予算計	昨年度 実績	
	法人自主財源	日本財団3か年	日本財団支援金	文科省助成金			
役員報酬		480,000	96,000	384,000	960,000	960,000	100%
給料賃金		3,792,000	2,088,000	3,480,000	9,360,000	9,911,600	94%
法定福利費	1,600,000		0		1,600,000	1,499,549	107%
福利厚生費	200,000		0		200,000	180,783	111%
業務委託料	10,000	13,680,000	830,000	4,887,500	19,407,500	13,653,954	142%
地代家賃	1,160,544	145,068	145,068	0	0	2,637,600	0%
接待交際費	10,000		0		10,000	20,480	49%
備品消耗品	100,000	796,266	104,844	210,000	1,211,110	889,704	136%
通信費	250,000	112,230	78,000	198,000	638,230	356,528	179%
広告宣伝費	30,000	5,766,000	110,000		5,906,000	4,288,744	138%
旅費交通費	200,000	376,000	60,000	52,700	688,700	493,473	140%
租税公課	5,000	0	0		5,000	3,800	132%
支払手数料	30,000	0	0		30,000	28,138	107%
支払報酬	450,000	679,000	151,000	148,000	1,428,000	854,902	167%
会議費	30,000	450,000	0		480,000	49,884	962%
水道光熱費	52,200	7,291	10,200		69,691	59,096	118%
研修費	0	0	0		0	0	
印刷製本費				612,000	612,000	0	
合計	2,967,200	26,138,787	3,528,044	9,972,200	42,606,231	35,888,235	119%
	2,967,200	29,666,831		9,972,200			
		32,634,031		9,972,200			
		42,606,231					